

2024年度

島根大学大学院人間社会科学研究科修士課程

社会創成専攻 人文社会コース

(第1次) 入試問題

【中国語学・中国文学】

(外国人留学生特別入試)

注 意

- 1 問題紙 2ページ、解答用紙 2枚、下書き用紙 1枚である。
- 2 指示があつてから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は、解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙、下書き用紙は、持ち帰ること。

問1 下の文章は、『周易』繫辭上伝の冒頭である。本文大字の部分を、わかりやすい現代日本語に訳せ(読者は易の用語について、基本的知識をもっているものとする)。小字注(割り注)の部分は訳さなくてよい。

天尊地卑 乾坤定矣
高以陳貴賤位矣
有常剛柔 斷矣
聚物以羣 分吉凶生矣
在天成象 在地成形 變化見矣
雷霆潤之 以風雨 日月運行一寒一暑
相摩
八卦相盪
雷霆潤之以風雨 日月運行一寒一暑

乾坤其易之門戶先明天尊地卑以定乾坤之體
天尊地卑之義既列則涉乎萬物貴賤之位明矣
剛動而柔止也動止得其常體則剛柔之分著矣
方有類物有羣則有同有異
有聚有分也順其所同則吉
有聚有分也順其所同則吉
是故剛柔
運化之推移鼓之以
相推盪也言陰陽之交感也
象况日月星辰形況山川草木也縣象運轉以成晉明山澤通氣而雲行兩施故變化見矣
相切摩也言陰陽之文感也

**社会創成専攻 人文社会コース
(外国人留学生特別入試)**

中国語学・中国文学 問題

問2 下の文章は、易經について説明したものである(维基百科 易經)。わかりやすい現代日本語に訳せ(読者は易の用語について、基本的知識をもっているものとする)。できるだけ、常用漢字を用いよ。

《易经》，中国古典文献之一，是古代中国巫师用于推演未来吉凶祸福的卜筮书，自汉代开始尊奉为“五经”之一；《易经》用一套符号形式系统描述事物的变化，表现了中国古典文化的哲学和宇宙观。它的中心思想，是用阴阳符号构成的卦象代表世间万物的运行状态。卜筮者向神明问事，求得卦象，借此预测事情（例如：战争、政事、农收等等）的成败吉凶。作为卜筮之书，《易经》的影响并不限于占卜和术数，大凡古代中国的哲学、宗教、政治、经济、医学、天文、算术、文学、音乐、艺术、军事和武术等各方面，皆可见到阴阳变化的思想寓于其中。自从十七世纪开始，《易经》经由天主教耶稣会的传教士引介至欧美国家。

問3 以下の項目について、知るところを現代日本語で述べよ。

- A. 六書
- B. 五経正義
- C. 文選
- D. 陸游
- E. 紅樓夢
- F. 茅盾
- G. 唐宋八大家
- H. 朱熹
- I. 吳音・漢音
- J. 平仄